

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日: 4月14日

作成者: 田中 宏紀

平成27年度Bプロジェクト(赤野井湾プロジェクト)会議

日時: 平成27年4月13日(月)

場所: 玉津会館 研修室

出席者: 荒木勝司、田中善秋、谷口喜久、田中善也、十二里常代、岩佐成晃、阿迦井勇、南出正幸、北村一三、三品芳之、中田捨三郎

出席者(行政): <玉津会館>富田会館長・田中主事、<守山市役所>地域振興課坪内課長・井上係長、文化財保護課福島主任

使用資料: 守山まるごと活性化(玉津学区)27年度取り組み検討項目

議題

平成27年度Bプロジェクト推進の計画について

会議要旨

発言者、時間、など	内容
	27日全体会議に向け、今年度のBプロジェクトの取り組み方針を決めたい。 ①漁港を活用したイベントの開催について 漁港での花火大会→大掛かりな花火ではなく、子供が遊べるような市販の花火 ・漁港に人を集めることで赤野井湾を皆に知ってもらう ・近隣の花火大会にあわせ対岸から観賞(8月1日または8日) 子供中心ともなると安全上の問題(交通量の多さ、火災等の問題等) ・えり市等近隣のお店のマイクロバスを利用させてもらい送迎を行う どのように参加者を募るか ・子ども会と連携をし参加者を募る この機会に水洗トイレを赤野井湾内に導入したい ②屋形船による観光・田舟の体験学習 既存の屋形船、田舟を利用し水郷めぐりを行う ・子供の田舟体験学習の間、大人は屋形船で、という住み分けをしてもよい 田舟について子供中心に募集 ・年齢制限はあったほうがよい(小学校高学年5-6年、中学生) ・夏休みの間に3回計画(7月1回、8月2回) ※募集状況を見て実施回数を調整 ・学区民以外からも参加者を募る予定 ③琵琶湖から諏訪屋敷までの田舟の運航について 水位が少ないため、今の状態では難しい 水門を利用し水位を上げ、水路内で田舟が利用できるようにする ・長期的視野を持って検討する ④赤野井湾の現状、環境保全の実施 赤野井湾にゴミが流れてこないようモラル向上を図ることが目的 ・ゴミ問題は玉津学区だけの問題ではないため、他学区・他市民も参加してもらえる仕組みをつくることが重要 ・主に清掃活動等による現地体験→現状を知ることにより意識の変化を促す ・漁業組合で月4回ゴミ拾いをしているので、それにあわせて参加してもらう ・「赤野井湾再生PJ」と合わせて行う→啓発運動 (裏面につづく)
決定事項	①赤野井湾花火大会の開催(8月1日又は8日) ②屋形船、田舟を利用した観光、体験学習の実施 ③多くの人が参加してもらえるような赤野井湾清掃の実施
次回以降について	今回の決定事項を具体化していく

会議要旨

発言者、時間、など	内容
	⑤その他 赤野井湾でしじみを養殖、販売 ・真珠棚を利用し養殖 ・地産地消にもつながる モロコが採れる環境づくり、モロコ釣り公園 ・赤野井湾の水質を改善し、モロコが棲みつける環境を目指す ・琵琶湖の水質、環境は他市とも協調しなければいけないので、玉津学区でできることは限られているがまるごと活性化プランで行う事業から地道に声を上げていく